

「なにわ筋」沿道地区まちづくり構想

「なにわ筋」沿道地区のまちづくりは、西成地区の中心を貫いて大阪市内西部を南北に結ぶ幹線道路として、「なにわ筋」拡幅延伸が契機となっています。鶴見橋商店街のみならず、木造密集住宅街が東西に分断される、さらに道路拡幅にともなう公共施設の再編、整備が西成地区全体の生活圏再編とあわせて大きな課題となったためです。

これらの課題に取り組むため、「なにわ筋沿道地区まちづくり構想検討会」を設置、住民が中心となって、アンケート調査やワークショップなどを行い、まちの問題点を出しあったり、学習を行いながら、共通の目標やルールをつくり、これからのまちの基本となる方向性を示した「なにわ筋沿道地区まちづくり構想」を作成しました。

当時の「なにわ筋沿道地区」は……

なにわ筋沿道地区周辺は大半が戦災の影響を受けておらず、そのため沿道に古い木造住宅が残っており、また、なにわ筋の拡幅事業に伴い、鶴見橋商店街の分断化、公共施設の整備など、多くの課題がありました。

➤ 現状は

- なにわ筋沿道地区周辺は、大正年間に耕地整理によって市街化された地域であり、その大半が戦災の影響を受けていませんでした。
- なにわ筋で拡幅事業が進められており、完成時にはまちの幹線道路として期待されますが、一方沿道に多く残る古い木造住宅の整備や、鶴見橋商店街の分断化対策、沿道の公共施設の再編、整備等、多くの課題を抱えていました。

➤ なにわ筋沿道地区のエリアは

なにわ筋沿道地区は、なにわ筋拡幅の影響の及ぶ範囲として、なにわ筋に面する東西の地域を対象としています。

人 口：約 2,600 人

世帯数：約 1,300 世帯

➤ まちづくりの課題は

土地利用の高度化と景観づくり

老朽密集地区の住環境整備

結節点整備による新しい魅力づくり

商店街の活性化

公共施設の再編

住民が求める「なにわ筋沿道地区」の将来イメージは……

そうしたなか、住民が求める将来イメージは、住民2人に1人が“住宅、商業、工業などが共存する庶民的なまちなみ”。また、なにわ筋沿道に必要な施設は「病院などの福祉厚生施設」が4割を占めています。

住民の「なにわ筋沿道の将来イメージ」を、『まちづくりアンケート結果』からみると、“住宅、商業、工業などが共存する庶民的なまちなみ”となっています。平成11年実施の『まちづくりアンケート結果』をみると、「将来、なにわ筋にふさわしいまちなみは」の間に対して、「住宅、商業、工業が共存する庶民的な街並み」(51.1%)が半数を占め、次いで「緑豊かで1、2階に店舗、業務等が入った中高層住宅の街並み」(23.9%)、「たくさんの人が訪れる大型店舗や娯楽施設などが建ち並ぶ街並み」(15.2%)となっており、また、「なにわ筋の拡幅をどう感じていますか」の間については、第1位が「街並みがきれいになり雰囲気よくなる」、第2位が「路上駐車などが心配である」、第3位が「街路樹などでまちがうるおい豊かになる」と、庶民的、きれいな街並み、うるおいといったまちづくりの将来イメージのキーワードが表れています。

さらに平成12年実施の『土地利用アンケート結果』では、「なにわ筋沿道の土地利用について望ましいと思われるものはなんですか」の間に対して、第1位は「店舗をはりつけてにぎわいを生み出す」(58%)と6割近くを占め、次いで「保育所などはなにわ筋沿道には配置しない」(46%)、第3位が「なにわ筋沿道の空地は、人を引き込む施設などに活用する」(42%)となっています。さらに「将来なにわ筋沿道に必要な施設はなんですか」については、第1位が「病院などの福祉厚生施設」(42%)が圧倒的に高い割合を占め、第2位が「物販や飲食店などの商業施設」(18%)、第3位が「映画館、劇場などの娯楽施設」(15%)となっています。

「なにわ筋沿道地区」の西成地区総合計画 2001 での位置づけは……

“未来に輝く人間都市”をまちづくりのコンセプトとする西成地区総合計画 2001 では、なにわ筋沿道地区を幹線道路にふさわしい土地利用や景観形成を図る「幹線道路整備ゾーン」、過密解消と居住環境の向上をめざす「密集市街地整備ゾーン」、幹線、準幹線道路の結節点では中核的な施設を中心にその波及効果を楽しむ「拠点整備ゾーン」に位置づけています。

「幹線道路整備ゾーン」

幹線道路の拡幅整備に伴って、幹線道路沿いにふさわしい土地利用や景観の形成を図ることを目標とし、沿道周辺では建替や敷地の共同化により魅力的な街並みづくりを進める。

「密集市街地整備ゾーン」

木造住宅が密集するゾーンでは、過密解消と居住環境の向上を図るため、民間建替支援事業などの制度を利用した民間の自主建替、共同建替を促進しつつ、老朽住宅が面的に広がる地区では、住宅地区改良事業を周辺も含めた範囲で、周辺と一体感のある街づくりを目指す。

「拠点整備ゾーン」

幹線、準幹線道路の結節点では、中核的な施設を中心にその波及効果を楽しむことができるようなまちづくりを目指し、既存施設の活用や地域全域に広がりを持った重点的な整備を図る。

「なにわ筋沿道地区」のまちづくりの目標は……

住民中心に行った学習会、タウンウォッチング、アンケート、ワークショップなどにより、なにわ筋沿道地区の将来イメージ「住宅、商業、工業などが共存する庶民的なまちなみ」を踏まえ、「幹線道路にふさわしい沿道の景観づくり」「商店街の活性化にぎわいづくり」「住環境の整備」、「公共施設の再整備」の基本方針を定め、なにわ筋沿道地区のまちづくり構想を作成しました。さらに、住民間での議論や行政との話し合いなどを引き続き進めながら構想実現に向け取り組んできました。

なにわ筋沿道整備

基本方針：幹線道路にふさわしい沿道の景観づくり

道路の拡幅整備に伴い、幹線道路沿いにふさわしい土地利用や景観の形成を図ることを目標に、沿道周辺での、建物の更新、魅力的な街並みづくりを進める。

整備の考え方

- ✓西成地区のメインストリートにふさわしい魅力的な道路整備
- ✓地区の防災幹線としての安全な道路整備
- ✓視覚的に変化のある、歩いて楽しくなるような空間づくり
- ✓段差等をなくした誰もが安全で快適な歩道づくり

なにわ筋と商店街との結節点整備

基本方針：商店街の活性化とにぎわいづくり

にぎわい再生のために商店街の活性化やまちづくり事業の誘致などを行い、結節点周辺においては、特色ある面的な整備も含めた魅力的な空間づくりを行う。

整備の考え方

- ✓ 鶴見橋商店街の分断化に対する連続性と一体感の創出
- ✓ 鶴見橋商店街の魅力的な新しいゲートづくり

なにわ筋沿道の住環境の改善

基本方針：住環境の改善

過密解消と居住環境の向上を図るため、民間老朽住宅立替支援事業や優良建築物等整備事業などの制度を活用した、民間の自主建替、共同建替を促進しつつ、老朽住宅が面的に広がる地区では、住宅地区改良事業を周辺を含め広範囲に住民参加型で進め、周辺と一体感のある街づくりを目指す。

改善の考え方

- ✓ なにわ筋に面しての、店舗付住宅によるにぎわいのある住宅づくり
- ✓ お年寄りも快適に、安心して住み続けられる住宅づくり
- ✓ 若い世代などのニーズに合った魅力的な住宅づくり
- ✓ 様々な事業制度を活用した共同建替の促進

なにわ筋沿道の公共施設の再整備

基本方針：公共施設の再整備

地区の特性を活かした個性的なにぎわい拠点づくりを目指し、なにわ筋沿いに多く立地している公的施設の再編・複合化など、多くの人を呼び込めるようなしかけづくりを進める。

改善の考え方

- ✓ メインストリートにふさわしい景観づくりのための調和のとれた施設づくりや利用者の交流を図るためのしかけづくり
- ✓ なにわ筋のにぎわいを生み出すための店舗付住宅の配置や高度利用
- ✓ 将来を見通した新しい公共施設の有り方の検討と整備

図. なにわ筋沿道地区まちづくり構想

